

「中国の菊花展」に用いた中国菊

とその展示について

井上尚子・豊永哲夫

はじめに

広島市植物公園では、平成13年現在、中国重慶市から寄贈された中国菊を92品種保有している。これらのうち、平成8年に寄贈された58品種については、花期、茎の長さなどの特性について、本誌18号で報告している。しかし、平成8年以前から保有している品種については未調査であった。今回、平成13年度の「中国の菊花展」で展示した品種について、特性等を調査したので報告する。また、過去の展示実績をふまえ、当園で今後中国菊をより効果的に展示するにはどのようにしたらいいか、考察してみたい。

調査品種と方法

平成13年度の「中国の菊花展」で展示した中国菊66品種について、茎の長さおよび花径を11月14日から19日にわたって調査した。その計測方法は、図に示した。また、輪台

を取り付けた品種については、その取り付け日を記録した。

これまでの観察結果から短幹種、中幹種、長幹種を判別し、短幹種、中幹種は5月14～16日、長幹種は6月19日、長幹種かどうか分からない

のを合わせた6品種については5月14～16日と6月19日の2回、挿し芽を行った。最初に挿し芽をした品種は6月13日に1度目の摘芯、7月12日に2度目の摘芯を行い、後に挿し芽を行った品種は7月10日に1度目の摘芯、8月4日に2度目の摘芯を行った。一株の仕立て本数は7本を基本としたが、枝の高さが不揃いである場合は、5本あるいは3本に減らした。鉢数は基本的に一品種につき3鉢とした。

また、今回測定した結果を、過去に測定した結果と比較した。

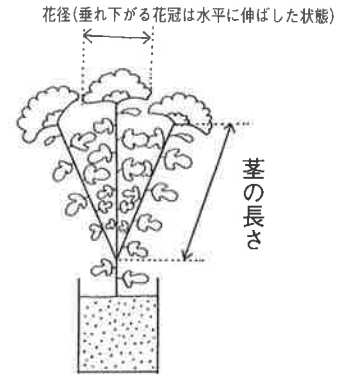


図 茎の長さ、花径の計測部位

表1 茎の長さ

整理番号	品種名	茎の長さ(平成13年)		茎の長さ(平成8年*)	算定した挿し芽の時期*2	整理番号	品種名	茎の長さ(平成13年)		茎の長さ(平成8年*)	算定した挿し芽の時期*2
		範囲	平均値					範囲	平均値		
5月14～16日に挿し芽を行ったもの											
75	山城之光	43～57	51.0	46.6	▲	23	墨双飛	80～96	84.3		□
18	紫綉図	60～68	64.0		▲	77	太真図	77～94	85.5	54.5	□
44	白彩紅	58～70	64.0	44.3	▲	73	泥金豹	83～92	87.0	66.5	□
68	紅宝石	60～69	64.3	51.0	▲	71	金風万里	83～92	88.3	70.4	□
74	平沙落雁	54～70	64.5	43.2	▲	25	青春似火	80～97	88.5		□
55	荷塘春色	61～70	64.7	54.7	▲	3	老墨菊	83～99	90.5		○
51	風清月白	61～71	66.0	52.5	▲	83	勝似春光	85～98	90.8	75.4	○
56	紅雲托桂	60～70	66.2	53.0	▲	49	泰猷	90～100	93.3	73.7	○
59	金牡丹	63～72	66.5	60.0	▲	63	粉干龍	93～94	93.5	60.0	○
82	萍水思遠	61～73	67.3	56.5	▲	7	綠鸞翔舞	92～97	94.8		○
92	棕毛刺	63～76	68.3	75.0	▲	11	紫龍珠	90～102	95.0		○
48	大紅托桂	66～73	69.5	40.6	▲	37	宝蓮灯	94～98	96.0	85.8	○
66	黃鶴衝珠	62～78	69.7	53.0	▲	15	紫金球	92～100	96.5		○
22	墨麒麟	60～78	69.8		▲	70	金絲千条	88～105	97.2		○
76	珊瑚宝釵	62～80	69.8	60.0	▲	21	紫菊墨菊	91～111	98.7		○
8	綠窓紗影	62～80	70.8		▲	89	銀園綠竹	86～106	98.8	70.0	○
91	紫綉	64～79	71.1	62.1	△	4	墨獅子	93～105	100.2		○
46	嫦娥奔月	69～77	71.2	63.3	△	50	粉如意	112～142	125.5	86.3	●
36	碧玉芳齡	67～80	74.0	67.6	△	6月19日に挿し芽を行ったもの					
67	黃毛刺	68～78	74.7	75.3	△	41	鳳凰振翅	48～51	49.5	73.2	▲
64	光輝	72～78	75.0	70.2	△	79	玉容初醉	53～61	57.7	62.4	▲
12	紫綉帶	72～82	75.5		△	72	葵花向陽	57～70	63.7	66.5	▲
33	黃芍藥	69～82	75.7		△	42	碧玉勾盤	61～72	66.5	87.0	□
30	粉毛刺	73～79	76.3		△	52	高原之雲	62～72	68.0	71.8	□
61	綠孔雀	71～82	76.3	60.6	△	69	君子玉	70～75	74.7	63.4	□
84	陶然醉	70～80	76.3	48.7	△	60	錦袍元帥	67～82	77.0	80.6	□
62	麗金	72～86	79.3	51.6	△	38	白鶴展翅	73～81	77.5	80.0	□
39	白牡丹	73～87	79.8	48.4	△	54	黃千龍	70～85	78.2	82.6	○
90	紫風仙衣	74～89	81.0	63.0	□	49	泰猷	73～84	78.8	73.7	○
52	高原之雲	77～89	82.3	71.8	□	37	宝蓮灯	77～89	83.0	85.8	○
29	天機纒錦	77～90	82.7		□	53	黃鶴樓	80～88	83.3	97.6	○
57	金背大紅	75～89	82.8	64.2	□	7	綠鸞翔舞	81～86	83.5		○
9	春水綠波	78～89	83.0		□	89	銀園綠竹	78～89	84.5	70.0	○
65	黃石公	80～88	83.0	69.8	□	10	漢山秋雨	86～98	92.0		●
13	翡翠嶺	78～89	83.2		□	1	墨荷	88～96	93.5		●
58	金鉢	78～90	84.0	72.4	□	50	粉如意	96～112	104.0	86.3	●

斜字で記したものは、5月と6月の両方で挿し芽をした品種

*1: 広島市植物公園栽培記録第18号(1997) p.4-5 より

*2: 本文参照

表2 花径 (単位cm)

整理番号	品種名	平成8年*1	平成10年*2	平成13年	資料*3	整理番号	品種名	平成8年*1	平成10年*2	平成13年	資料*3
1	墨荷		20	17		54	黄千龍	12	14	15	13
3	老墨菊		13	12		55	荷塘春色	14	16	13	15
4	墨獅子		17	17		56	紅雲托桂	10	11	11	9
7	綠鸞翔鶴		30	23		57	金背大紅	14	17	15	13
8	綠窓紗影		26	15		58	金鉢	16	16	16	13
9	春水綠波		25	29		59	金牡丹	10	14	14	11
10	溪山秋雨		24	26		60	錦袍元帥	27	24	18	16
11	紫龍珠			19		61	綠孔雀	18		20	15
12	紫羅菁		30	23		62	鳳金	10	11	14	
13	翡翠蓮			18		63	粉千龍	12	11	15	13
15	紫金球		11	12		64	光輝	14		15	15
18	紫綉團		16	18		65	黃石公	14	21	19	15
21	紫菊墨菊		14	13		66	黃鶴衝珠	21	27	18	19
22	墨麒麟		16	15		67	黃毛刺	16	17	18	17
23	墨双飛		19	18		68	紅寶石	11		11	9
25	青春似火		15	13		69	君子玉	13	20	18	14
29	天機總錦		19	17		70	金絲千条	19		23	18
30	粉毛刺		18	15		71	金風万里	24	26	23	20
33	黃芍藥		20	15		72	葵花向陽	12	14	13	11
36	碧玉芳齡	24	27	19	16	73	泥金豹	15	19	21	16
37	宝蓮灯	18	28	18	16	74	平沙落雁	21	22	18	18
38	白鶴展翅	20	26	20	19	75	山城之光	10	12	14	11
39	白牡丹	13	14	16	14	76	珊瑚宝釵	24	31	23	26
41	鳳凰振翅	16		21	17	77	太真図	23	29	20	16
42	碧玉勾盤	22	27	21	19	79	玉容初醉	15	23	15	13
44	白彩紅	7		9	8	82	萍水思遠	26	23	23	18
46	嫦娥奔月	21	26	16	16	83	勝似春光	11	11	13	11
48	大紅托桂	14	16	13	15	84	陶然醉	14	21	16	16
49	寒秋	11	13	13	13	89	籬園綠竹	15	26	20	20
50	粉如意	15	22	21	16	90	紫風仙衣	15	17	19	14
51	風清月白	16	19	17	15	91	紫緞	13	18	16	20
52	高原之雲	18	21	22	17	92	棕毛刺	15		17	13
53	黃鶴樓	23	24	18	15						

*1: 広島市植物公園栽培記録第18号(1997) p.4-5 より

*2: 日本植物園協会誌第33号(1999) p.82-84 より

*3: 平成8年に中国重慶市から送付された資料 より

測定結果および考察

1. 茎の長さ

測定結果を表1に示した。5月に挿し芽をした株の茎の長さは、平成8年のデータと比較してみると相関係数が0.74で、その長短の傾向はある程度、その品種の特性を示すことが確認された。

日本では、盆養仕立ての草丈(鉢底から一番高い枝の花首までの高さ)は、105~165cmが理想的だとされる。もし、当園における中国菊の展示でもこの基準を当てはめようとするれば、挿し芽の時期を見直す必要がある。

2回挿し芽を行った品種で、両者の茎の長さを比較すると、1ヶ月後に挿したもの(摘心の時期は23日違う)が11~15cm短かった。このことを念頭に置きつつ、今回の結果から、前述の基準にあわせ、かつ全体の草丈がある程度揃うように品種ごとの挿し芽の時期を算定すると以下ようになる。表1で▲で示した16品種は4月下旬、△で示した15品種は5月上旬、□で示した17品種は5月中旬、○で示した14品種は5月下旬、●で示した3品種は6月中旬。仕事の効率を考えれば、△、□、○の品種は5月中旬にまとめて挿し芽をし、▲と●の品種のみ、挿し芽の時期をずらしてもいいと思う。

2. 花径

測定結果を表2に示した。この度のデータを平成8年と平成10年のデータおよび中国重慶市から送付された資

料のデータと比較してみた。各データ間の相関係数はそれぞれ、0.739、0.733、0.794であった。平成13年度の展示に用いた中国菊の花径は9~29cmの範囲にあり、平均値は17cmであった。

3. 輪台の取り付け日

輪台の取り付け日については、表3に示した。この作業は開花始めに行うことから、輪台の取り付け日は開花始めの日とほぼ一致すると考えられる。このたびのデータを平成8年のデータと比べると、24品種は、±3日以内、7品種は、4~7日のずれがあった。黄毛刺だけは、平成13年の取り付け日が10月17日だったのに対し、平成8年の開花始めの記録は11月5日で、大きく時期が異なった。これまでの観察によれば、黄毛刺は平成9年から13年の4年間にわたって開花始めが10月中下旬であり、11月上旬だったのは平成8年だけである。普通は10月中下旬の開花始めと考えてよさそうである。

展示に用いた品種を、輪台取り付け日あるいは開花期の違いによって大まかに3つのグループに分けた(表3)。測定漏れの4品種については、写真などから、おおよその取り付け日を推測した。平成13年の輪台の取り付け日は、10月11日から17日までのものが18品種、10月20日から24日までのものが27品種、10月28日のものが4品種であった。

参考

平成13年度の展示に用いなかった23品種を以下に記録しておく。1. 開花期が展示期間に合わない15品種（早いのが、巫運聖火、大風歌、騰細波、飛黄、雪涛；遅いのが、大紫托桂、一朵紅雲、英紅邇霜、朱砂霜紅、緑山陰、玄墨、心花怒放、春意濃、羽儀、墨砂金）2. ウィルス等のために株の調子が悪い5品種（緑牡丹、緑毛刺、白毛刺、翡翠簾、楊妃争艶）3. 品種名が確定しない2品種（松竹梅、碧玉勾白球として導入）4. 本来の性質を発現しない品種（五光十色）。

また、今回、展示用でありながら輪台を付けなかったのは、花が小さい品種、花形がくずれにくい品種、輪台を付けられない方がかえって持ち味が生きるとされる品種など、計15品種（老墨菊、墨獅子、紫綉図、墨麒麟、青春似火、荷塘春色、金鉢、麗金、山城之光、勝似春光、白彩紅、奉猷、紅雲托桂、紅宝石、葵花向陽）である。

展示方法について

広島市植物公園では、1986年に中国重慶市から中国菊を寄贈されて以来、これらを毎年栽培展示している。どのような形で展示をするべきか、試行錯誤を繰り返している。

日本と中国では菊の観賞の仕方、展示の仕方に違いがある。中国では菊を詩画に添えて風情を楽しんだり、広場に一面に並べて彩りとするなど、様々な楽しみ方をしているが、花の高さを数センチの狂いも無く整然と並べる日本の大菊花壇のような楽しみ方は、一般的ではないようである。輪台も、日本では必ず用いられているが、中国では用いられていない。

日本式の菊の仕立て方に慣れ親しんでいる日本人から見れば、いきなり中国式の展示方法を行うと、違和感を覚える人が多いようである。何人かの人に意見を求めたことがあるが、例えば輪台をつけずに花卉がだらりと垂れる風情や花卉がランダムにつく様子は、「だらしが無い」という印象であるらしい。これはこれで、中国の人々は品種の持ち味として楽しんでいることが名前を見れば

表3 平成13年の輪台の取り付け日と平成8年の開花始め日

	整理番号	品種名	平成13年 輪台取り付け日	平成8年 開花始め日 ^{*1}
やや 早咲き	59	金牡丹	10月11日	10月12日
	57	金背大紅	10月11日	10月13日
	89	錐園緑竹	10月11日	10月13日
	41	鳳凰振翅	10月11日	10月13日
	46	嫦娥奔月	10月11日	10月16日
	48	大紅托桂	10月11日	10月18日
	64	光輝	10月11日	10月13日
	65	黄石公	10月14日	10月13日
	66	黄鶴衝珠	10月14日	10月16日
	71	金風万里	10月14日	10月16日
	73	泥金豹	10月14日	10月18日
	8	緑窓紗影	10月14日	
	79	玉容初醉	10月15日	10月13日
	74	平沙落雁	10月15日	10月21日
	63	粉千龍	10月16日	10月18日
中間	61	緑孔雀	10月16日	10月21日
	67	黄毛刺	10月17日	11月5日
	33	黄芍薬	10月17日	
	52	高原之雲	10月20日	10月21日
	60	錦袍元帥	10月20日	10月21日
	69	君子玉	10月20日	10月21日
	54	黄千龍	10月20日	10月25日
	51	風清月白	10月20日	10月27日
	9	春水緑波	10月20日	
	29	天机織錦	10月20日	
	70	金絲千条	10月22日	10月21日
	36	碧玉芳齡	10月22日	10月22日
	50	粉如意	10月22日	10月23日
	11	紫龍珠	10月22日	
	12	紫緩帯	10月22日	
	13	翡翠嶺	10月22日	
	21	紫菊墨菊	10月22日	
	38	白鶴展翅	10月23日	10月21日
	53	黄鶴樓	10月23日	10月21日
	82	萍水思遠	10月23日	10月21日
77	太真図	10月23日	10月25日	
91	紫綉	10月23日	10月25日	
1	墨荷	10月23日		
10	溪山秋雨	10月23日		
42	碧玉勾盤	10月24日	10月21日	
90	紫風仙衣	10月24日	10月25日	
92	棕毛刺	10月24日	10月25日	
76	珊瑚宝鬘	※10月24日	10月21日	
84	陶然醉	※10月24日	10月21日	
23	墨双飛	※10月24日		
やや 遅咲き	37	宝蓮灯	10月28日	10月25日
	7	緑鸞翔鶴	10月28日	
	30	粉毛刺	10月28日	
	39	白牡丹	※10月28日	10月30日

*1: 広島市植物公園栽培記録第18号(1997) p.4-5 より

※ 過去の記録及び写真などの状況証拠からおおよその輪台取り付け日を推定。

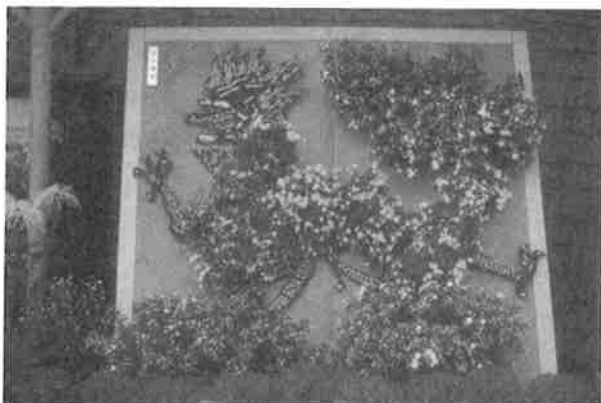


写真1 小菊で竜をかたどったもの (2001年秋)



写真2 菊花を用いた料理のイメージ (2001年秋)

